ボネコ ハイブリッド型 加熱超音波式加湿器

Mod.2300

取扱説明書

Swiss Quality

Made in KOREA

特長

■ 寝室に最適な加熱超音波式加湿器

超音波振動で水を霧状にしてお部屋を加湿します。音が非常に静かで、寝室でお使いいただくのに最適です。また、ヒーターをオンにすると霧の温度は送風孔付近で約 40℃、冬期でもお部屋の室温を下げません。しかも無風ですので、お部屋のホコリが舞い上がりにくい加湿器です。

■ ヒーターで素早くお部屋を加湿

ヒーターで加熱することにより加湿量が増加し、素早くお部屋を加湿します。

■ 水分中のカルキを除去

水道水のカルキを除去するイオン交換樹脂カートリッジ * 付きで、超音波式加湿器の問題点であった白い粉の発生を抑えます。

* 1 シーズンに 1 度交換が必要です。

■ 3つの抗菌システムを搭載（詳しくは4ページ参照）

次の抗菌システムを搭載し、衛生的です。

・ シルバースティック（水中の雑菌を不活性化します）

・ヒーター（水を約 80℃まで加熱します）

・超音波振動（超音波の振動で細菌の飛散を抑えます）

■ ノブ式の無段階調節

お好みに合わせて、加湿レベルおよび湿度を無段階調節できます。

このたびは、ボネコ ハイブリッド型 加熱超音波式加湿器をお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

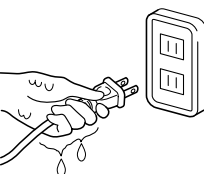
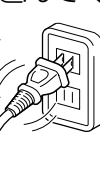
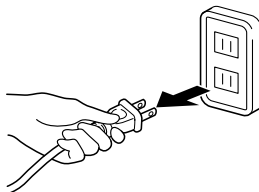
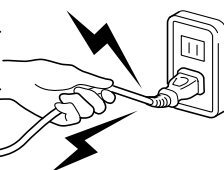
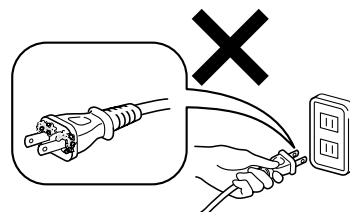
4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。

 発火注意 感電注意 高温注意 禁止行為

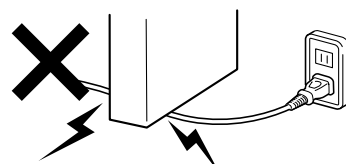
 分解禁止 強制／指示 プラグをコンセントから抜く

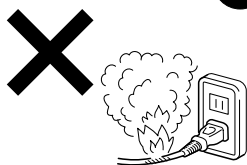
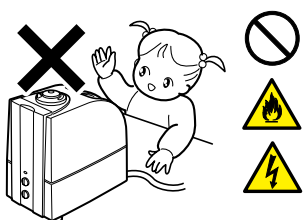
電源について ⚠警告

● 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接とってください。それ以外のコンセントから電源をとると、火災や感電の原因となります。

● 電源は、家庭用交流 100V ／ 50・60Hz で使用してください。それ以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

プラグについて ⚠警告

● 濡れた手で、プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まないと、火災や感電の原因となります。

● 使用時以外はプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

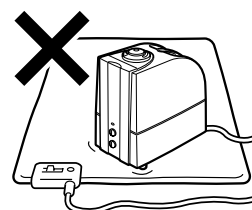
● 電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。
電源コードを持って抜き差しすると、破損の原因となります。

● コンセントの差し込み口やプラグに付いたゴミ、ホコリは定期的に取り除いてください。ゴミやホコリで電気がショートしやすくなり、火災の原因となります。

電源コードおよびコンセントについて　⚠警告

● 傷付いたり、変形・破損した電源コードやプラグ、コンセントは使用しないでください。
・電源コードやプラグが破損していたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用せず、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパンサービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。
・使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止してプラグをコンセントから抜き、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

● 使用中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

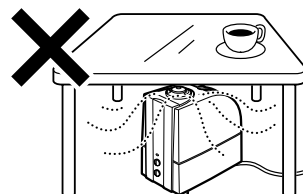
● 電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物を載せたり、傷付けないように大切に取り扱ってください。

● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。

● 使用中は電源コードが熱源などに触れないようにしてください。熱で電源コードが破損して、ショートや感電などの原因となります。

使用場所について　⚠警告

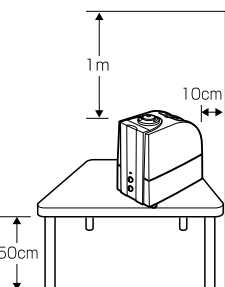
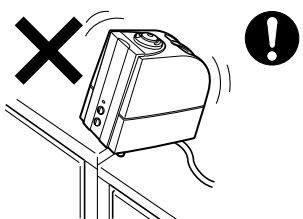
● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しないでください。けがや感電の危険があります。

● ストーブなどの暖房器と併用するときは、暖房器の温風が直接あたる場所には置かないでください。故障の原因となります。

● テレビ、ステレオ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しないでください。水がこぼれると故障や感電の危険があります。

使用場所について　⚠注意

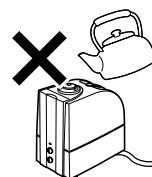
● 平らで安定のよい台などに置いて使用してください。不安定な場所に置くと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。

● 天井から1m、壁から10cm、床から50cm以上離して設置することをおすすめします。床に置いて使用すると、水滴がたまる場合があります。

● 濡れた場所の上に置かないでください。本体底面のセンサーが誤作動を起こします。

● テーブルや机の下で使用しないでください。送風孔の上をふさぐと、霧（湿った空気）が部屋中に行き渡りません。また、故障の原因となります。

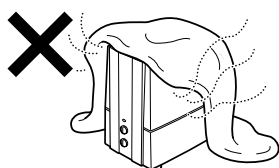
● **電気製品やパソコン・精密機器の近くでは使用しないでください。機器の故障を引き起こす場合があります。**

● 送風孔を壁面に向けないでください。霧にあたり続けると、壁紙を傷める恐れがあります。

安全上のご注意(つづき)

使用上のご注意　⚠警告

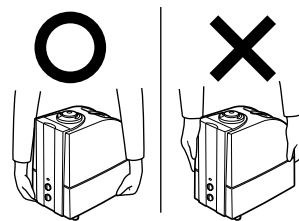
- 送風孔から噴霧される霧は吸入しないでください。健康を害する恐れがあります。
- 運転中に超音波振動プレートには触れないでください。感電の危険があります。
- 運転中に給水タンクを外さないでください。水が飛び散る恐れがあります。

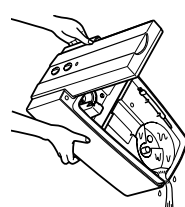
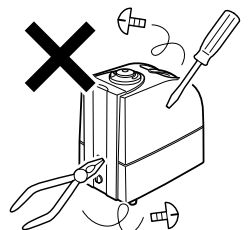
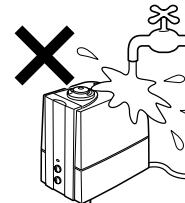
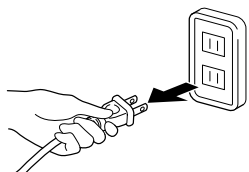
- 送風孔から絶対に給水しないでください。故障や感電の原因となります。

- 送風孔を外したまま運転しないでください。故障の原因となります。

使用上のご注意　⚠注意

- 本製品を、他の用途や屋外で使用しないでください。この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因となります。
- 本製品に腰掛けたり、物を載せないでください。故障の原因となります。

- タンクには水道水を入れてください。赤水などを使用すると、故障の原因となります。

- イオン交換樹脂カートリッジを使わずに運転しないでください。カルキの白い粉が飛散する恐れがあります。
- 運ぶときは、本体底を持ってください。タンクを持つと、本体が落下し、故障の原因となります。

- 給水時にタンクを取り外す際は、必ず先に送風孔を取り外してください。落下して割れる場合があります。

お手入れについて　⚠警告

- 改造や分解、修理を行わないでください。感電やけがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご相談ください。

- お手入れの前に必ずプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

- 排水の際は右図のように排水を行ってください。排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因となります。

- 本体や電源コード、プラグを水に浸けたり、水洗いしないでください。故障や感電の危険があります。

お手入れについて　⚠注意

- 金たわし、ベンジン、クレンザー、シンナーなどは使用しないでください。各部品が傷付いたりする恐れがあります。
- お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付けてください。各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因となります。
- 一週間以上使用しない場合は、必ず給水タンクと水槽の水を捨ててください。この際、イオン交換樹脂カートリッジも取り外して乾かしてください。水が入ったまま放置しておくと、異臭や故障の原因となります。

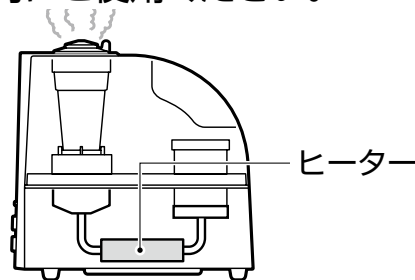
- シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこすらないでください。シルバースティックは、銀の特性でやや黒ずむ場合がありますが、紙ヤスリや金ブラシでこすり取ることはおやめください。抗菌効果が損なわれる原因となります。
- 塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。各部品が傷付いたりする恐れがあります。
- 給水後は、必ず給水タンクの外側に付いた水滴を布きんなどで拭き取ってください。

知っておいていただきたいこと

加湿のしくみと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

この加湿器は“加熱＋超音波式”です

●節電運転：超音波振動により水を霧化させ、室内を加湿します。（消費電力 40W）
●スピード加湿運転：内部ヒーターで水を約 80℃まで加熱し、加湿を促進させます。
ヒーターは切ることも可能です。（消費電力 40＋90＝130W）

《ご参考》
ヒーターをオンにしてから、15～20 分で超音波振動による霧が暖かく（約40℃）なります。

抗菌システムを採用しています

●シルバースティック

水槽内にシルバースティックを設置し、銀イオンの持つ抗菌作用で、水中の雑菌を不活性化します。

シルバースティックの抗菌性能試験結果

試験菌名	不活性化効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%

（財団法人　北里環境科学センター調べ）

●ヒーター（オン時）

内部ヒーターで水を約 80℃まで加熱し、水中の菌の繁殖を抑えます。

試験菌名	除去率
大腸菌	99.7%

（財団法人　北里環境科学センター調べ）

●振動

超音波振動により、水中の菌の飛散を93.3％抑えます。（オーストリア・エンゲル研究所調べ）

安全設計です

超音波式ですので、やけどの心配がありません（ヒーターオン時の霧の温度は約 40℃です）。

設置場所について

安全かつ効率良く加湿するために、以下のような場所に設置してください。

●床面、または水平で安定した台の上
●送風孔から出る霧をさえぎるような物がないところ

水滴や結露を防止するため、以下のような場所で使用することをおすすめします。

●天井から 1m 以上離す
●壁や窓から 10cm 以上離す
●床から 50cm 以上離す

※送風孔は 2 口で、それぞれ 360°可変式です。
設置場所に応じて自在に向きを変えられます。

次の場所では使用しないでください

●送風孔から出る霧が、電気製品・パソコン・精密機器・家具・カーテン・天井などに直接あたるところ、およびその近く

●磁気の多いところ
●毛足の長いカーペットやふとんなどの上
●水などで濡れたものの上

（湿度センサーが誤動作する恐れがあります）

●エアコンなどの風が直接あたる場所（床が濡れる恐れがあります）

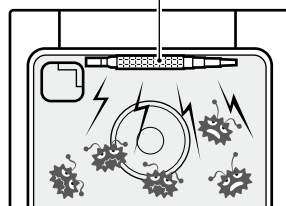
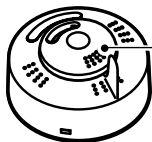
開梱時のご注意

製品を箱から出したら、以下の点を確認してください。

保護テープを外しましたか？

送風孔に貼ってある保護テープを取り外してください。

シルバースティックが取り付けられていますか？

シルバースティック

抗菌用のシルバースティックが水槽内の手前側に取り付けられていることを確認してください。銀の特性で、シルバースティックがやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能には問題ありません。安心してご使用ください。

⚠注意　変色部分を紙やすりや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれます。

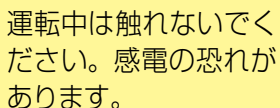
各部の名称とはたらき

給水タンク

●送風孔
ここから湿気を含んだ霧が出ます。上下２段階それぞれに360°回転させて風向きを変えることができます。
給水時には必ず取り外してください。タンクが逆さになり、落下して割れる場合があります。

吹出し口●
湿気を含んだ霧が通り、送風孔へ流れます。

ここから給水しないでください。水がこぼれてしまいます。

●取っ手
給水タンクを運ぶときに持ちます。

イオン交換樹脂カートリッジについて

水道中のカルキ分の飛散を抑えるため､イオン交換樹脂入りのカートリッジを搭載しています。しかし､まれに水道水中のカルキが多いと､取りきれない場合があります。その際は､弊社サービスセンター (裏表紙参照) までご相談ください。

●イオン交換樹脂カートリッジ
カルキが飛散するのを防ぎます（カートリッジのふたは開きません）。

●給水タンクふた
（給水は､ふたにカートリッジを付けたままの状態で行えます。）

本　体

超音波振動プレート●

運転中は触れないでください。感電の恐れがあります。

●水　槽
給水タンクからの水がたまります。

●お手入れブラシ
水槽内のお手入れのときに使用します。

水量センサー●
水の残量が少なくなるとセンサーが働き､運転を停止します。給水ランプは赤色に点灯します。

●電源コード

●プラグ

操作パネル●
お好みの湿度や加湿レベルを設定できます（右ページ参照）。

●シルバースティック
銀イオンの持つ抗菌作用で､水中の雑菌を不活性化します（4ページ参照）。

使い始めの着色について

新しい「イオン交換樹脂カートリッジ」の使い始めに極微粒のイオン交換樹脂により､水槽内の水が薄茶色になる場合がございますが､機能・安全上の問題はございません。タンク満水の量で数回給水を行う間に色がなくなります。

操作パネル

電源ランプ／給水ランプ

電源のオン／オフの状態や、給水が必要になったことを色でお知らせします。

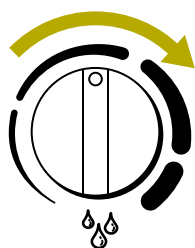
黄緑ランプ点灯：電源が入っています。
赤ランプ点灯：給水を行ってください。
消灯　　　　：電源が切れています。

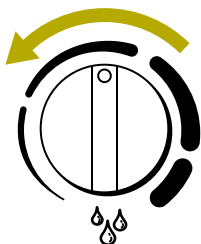
湿度設定ノブ

お好みの湿度（目安）を設定します。センサーが周辺湿度を感知し、設定した湿度を保つように運転します。

※適湿範囲については８ページ参照

時計回り

湿度が高くなります。

反時計回り

湿度が低くなります。

強制加湿※

時計回りいっぱいに回すと、お部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。

※加湿のし過ぎにはご注意ください。

ヒーター電源オンランプ

ヒーターに電源が入っているときにオレンジ色に点灯します。

ヒーター電源オン/オフボタン

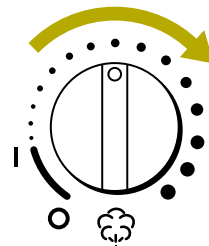
ヒーターに電源を入れると、内部で水を約 80℃まで加熱し、すばやくお部屋を加湿します。
ヒーターオン時の霧の温度は約40℃です。

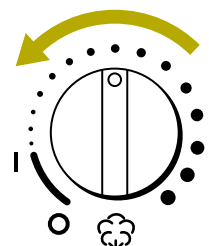
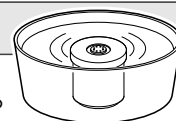
電源ノブ／加湿レベル設定ノブ

電源のオン／オフや加湿レベルを設定します。

O：電源が切れます。
I：電源が入ります。
電源が入ると、上の電源ランプが黄緑色に点灯します。
（このとき､超音波振動による霧が発生し、加湿が始まります。）

時計回り

加湿レベルが上がり、加湿量が増えます（霧の量が増えます）。

反時計回り

加湿レベルが下がり、加湿量が減ります（霧の量が減ります）。

使用手順

●ご使用前に

本製品をご使用になるときは、以下の準備を行ってください。

●新しいイオン交換樹脂カートリッジをあらかじめ 10 ～ 15 分、水につけておく。

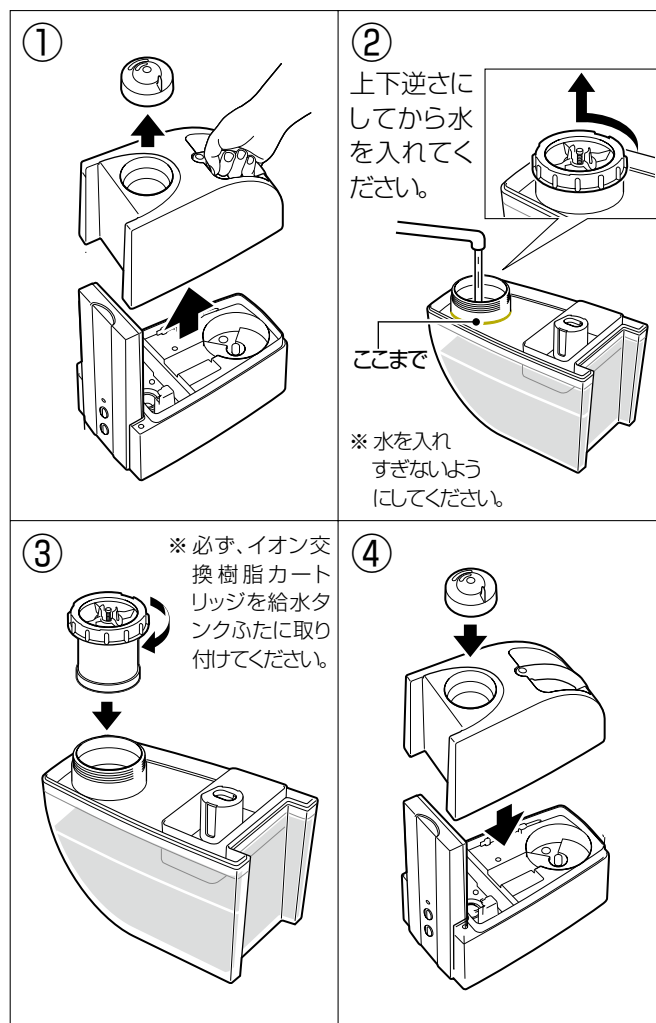
1 給水タンクに水を入れ、本体にセットする

①給水タンクを持ち、送風孔を外す

送風孔を落とすと割れる恐れがあります。

②給水タンクを上下逆さにして給水タンクふたを開ける

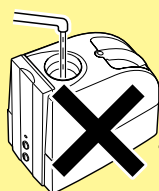
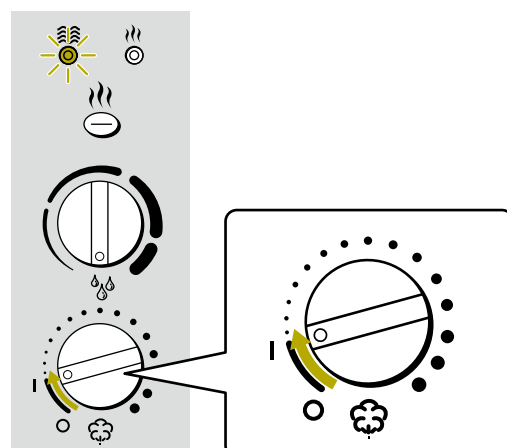
反時計回り：開ける

③給水タンクを上下逆さにしたまま水道水を注ぎ、給水タンクふたをしっかりと締める

※水を入れすぎると、イオン交換樹脂カートリッジを入れた際に、水がこぼれ出す恐れがあります（給水口より約 1cm は必ず空けてください）。

④給水タンクを本体にセットし、送風孔を取り付ける

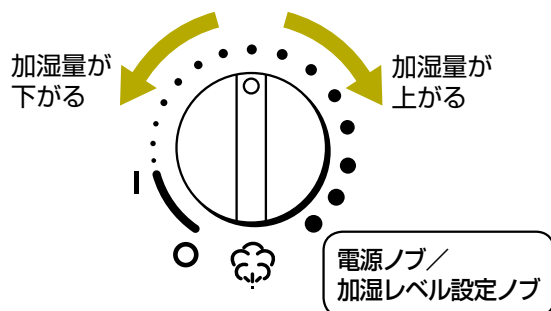
※送風孔を壁面に向けないでください。霧にあたり続けると、壁紙を傷める恐れがあります。

⚠注意

- 赤水井戸水は使わないでください。
- 給水タンク上面の吹出し口から水を入れないでください。水がこぼれてしまいます。また、水がイオン交換樹脂カートリッジを通らないため、カルキの白い粉が飛散する恐れがあります。
- アロマエッセンス等は入れないでください。

2 プラグをコンセントに差し込み電源を入れる

①プラグをコンセントにしっかり差し込む

②電源ノブ／加湿レベル設定ノブを時計回りに回し電源を入れる

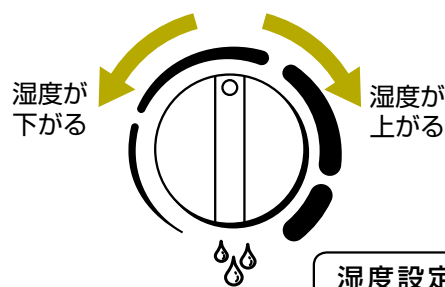
ヒント 使用中は給水タンクの水量をチェックし、少なくなったら給水してください。給水タンクを満水にした場合(4.75L)は、加湿レベルを最大で運転した際、約10 時間の連続加湿が可能です。

3 加湿レベルを調整する

お好みに応じて、加湿レベルを調整します。

時計回り 加湿レベルが上がります(霧の量が増えます)。
反時計回り 加湿レベルが下がります(霧の量が減ります)。

4 湿度を設定する

お好みに応じて、湿度(目安)を設定します。

時計回り
湿度が上がります。

反時計回り
湿度が下がります。

お部屋の湿度が設定した湿度よりも高くなると、自動的に運転が止まります。
また、湿度が下がった場合は、自動的に運転を再開します。
※設定した湿度よりも部屋の湿度が高い場合は、電源を入れても加湿されません。

適湿範囲

湿度設定ノブを右図の範囲内にセットすると、湿度が40～60%(目安)にセットされます。

ヒント
お部屋の広さ、気温等の条件により、同じセット位置でも湿度が変化しますので、湿度計をお使いただくと便利です。

霧が出すぎて過加湿状態になったら

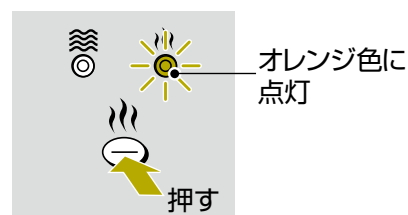
お部屋の湿度状態にかかわらず水分を放出できる能力を持っておりますので、お部屋が霧で充満、もしくは床に水滴が付着することがあります。
これは過加湿状態ですので、直ちに加湿レベル設定ノブで加湿レベルを下げるか、運転を一時休止してください。

強制加湿について

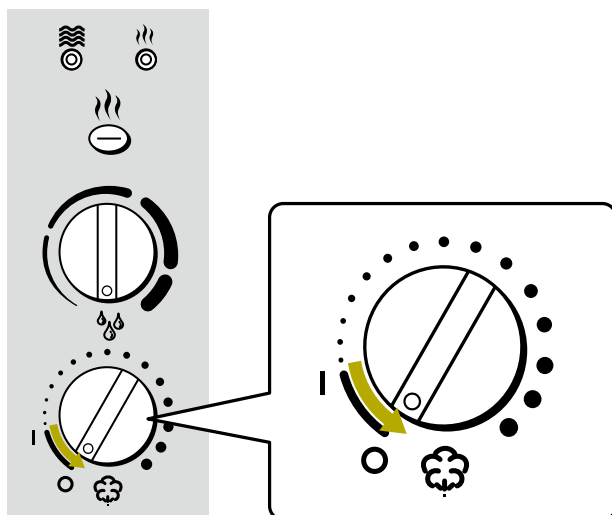
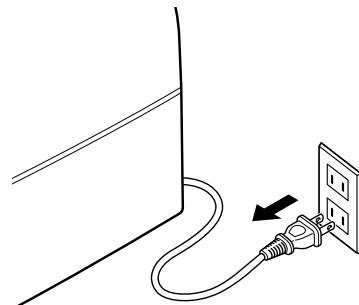
時計回りいっぱいにノブを回すと、お部屋の湿度に関係なく、強制的に加湿を続けます。

※加湿のし過ぎにご注意ください。

ヒーターを入れる

ヒーター電源オン／オフボタンを押してヒーターを入れると、15～20分で冷たい霧が暖かい霧(約40℃)になります。このとき、ヒーター電源オンランプがオレンジ色に点灯します。

5 停止する／電源を切る

①電源ノブ／加湿レベル設定ノブを反時計回りに○の位置まで戻す

電源ランプ（黄緑色）が消灯します。
（ヒーターを入れている場合はヒーターランプも消灯します）

② コンセントからプラグを抜く

⚠注意　一週間以上使用しないときは、必ず給水タンクと水槽の水を捨て、次回は新しい水で加湿してください。

続けてご使用になる場合は､「給水タンクに水を入れ､本体にセットする」(7 ページ)の手順で水を入れてください。

※本体から給水タンクを外したときに水滴が落ちますのでご注意ください。

給水タンクの水が少なくなると…

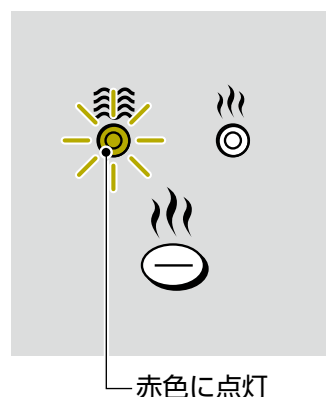
水量センサーが感知して、電源ランプ／給水ランプが赤色に点灯し、運転を停止します。
電源を切ってから、給水を行ってください。

赤色に点灯

給水タンクに水を入れたのに赤ランプがつく…

これは、タンク内の水がカートリッジを通過し、水槽に水がたまるまで少し時間がかかる(2 ～４分)ためです。水がたまると自動的に加湿を始めます。

水が薄茶色になる場合

新しいカートリッジを使用した際に水が薄茶色になる場合がありますが、故障ではありません。数回、給水タンクに給水を行うと徐々に色はなくなります。

適用畳数について

お部屋を効率良く加湿するために、右記の適用畳数を目安に使用してください。

適用畳数の範囲で使用していても、お部屋の状態や外気の乾燥の程度によっては、湿度が上がりにくいことがあります。

お部屋の種類	適用畳数
木造和室	７畳
プレハブ洋室	11 畳

イオン交換樹脂カートリッジについて

超音波式加湿器のしくみは、振動板による超音波振動で水を微粒子にして空気中に素早く拡散させ、加湿を行うものです。このため、お客様がお住まいの地域の上水道によっては、イオン交換樹脂カートリッジを透過しても、加湿器の周りの壁や家具に白い粉が付く場合があります。これは、上水道に含まれるカルシウムやマグネシウムなどにミネラル分が多いためで、有害な物質ではございません。その際は、弊社サービスセンター (裏表紙参照) までご相談ください。

⚠注意 精密機械 (主にリモコンなどの光学系精密機械) などに送風孔からの霧を当て続けたり、過加湿状態 (8 ページ参照) で使用し続けると、故障の原因となりますので、ご注意ください。

●イオン交換樹脂カートリッジの交換時期

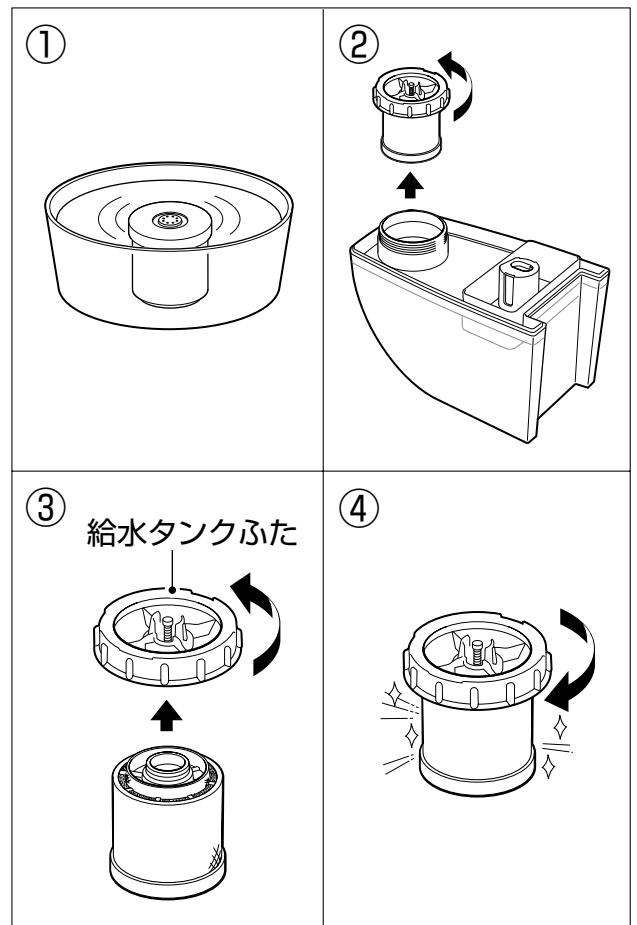
使用頻度や水質にもよりますが、1 シーズン(使用期間 : 約 3 ～ 4 か月)を目安に新品と交換してください。新品のカートリッジは、販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(裏表紙参照)にご注文ください。

カートリッジの交換手順

①使用前に、新しいカートリッジをあらかじめ 10 ～ 15 分水に浸けておく

②給水タンクから古いカートリッジを取り外す

③給水タンクふたを取り外す

④カートリッジを交換する

給水タンクふたを古いカートリッジから取り外し、新しいカートリッジと交換します。
給水タンクに給水タンクふたを取り付ければ、交換完了です。

※使用したカートリッジを保管し、翌シーズンに使用することはおやめください。
異臭などの原因となることがあります。

※使用済みカートリッジは、各地方自治体の指導に従って廃棄してください。

お手入れのしかた

汚れ具合にもよりますが、定期的にお手入れをしてください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。

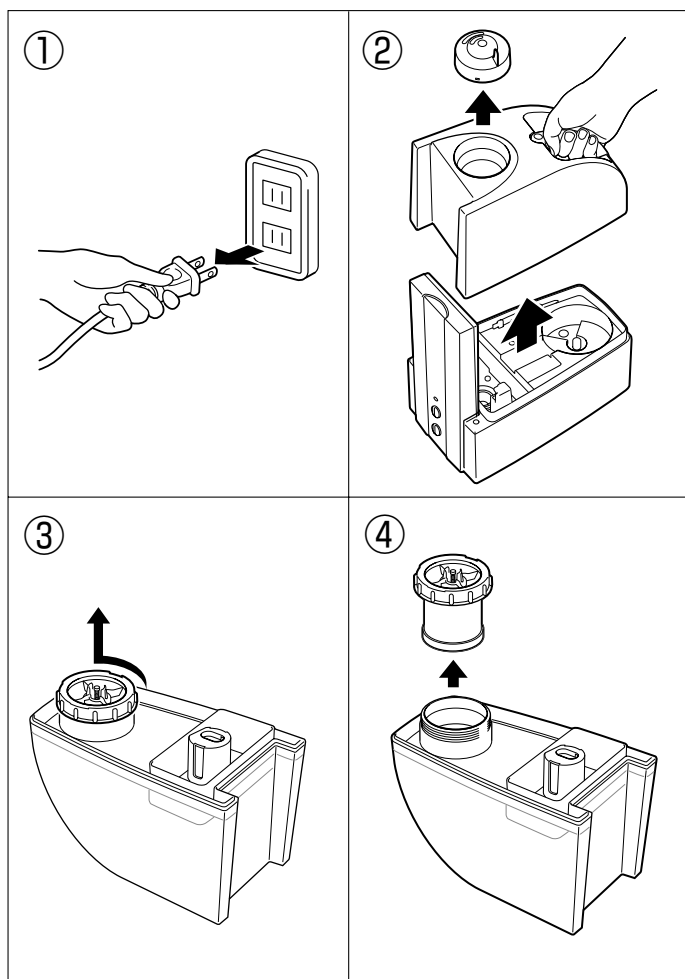
⚠注意
- プラグは必ずコンセントから抜いてください。
- クレンザー(研磨剤)やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機は、使用しないでください。高温で変形する恐れがあります。

タンクの排水

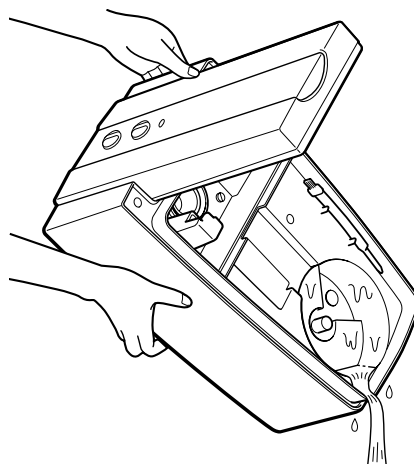
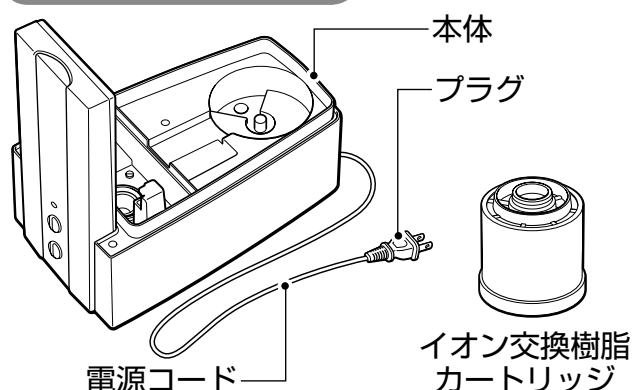
①プラグをコンセントから抜く

②本体から給水タンクを外す

③給水タンクふたを開ける

④イオン交換樹脂カートリッジを外し、残水を排水する

本体の排水

①本体から給水タンクを外す

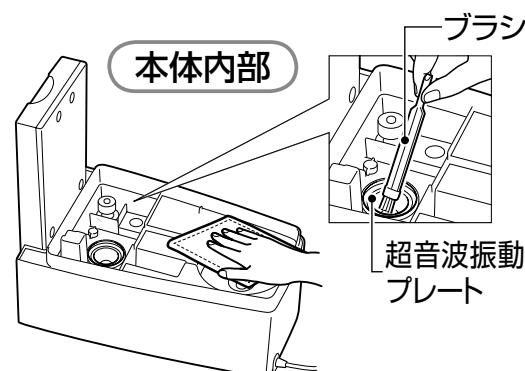
②本体を図の方向に傾けて排水する

⚠警告 必ず図のようにして排水してください。操作パネルやプラグが水に濡れると、故障や火災・感電・ショートの原因となります。

※１週間以上ご使用にならない場合は排水を行ってください。
この際、イオン交換樹脂カートリッジを取り外して乾かしてください。

保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いてから組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

●乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

➡操作パネルを水で濡らさないでください。故障の原因となります。

●柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で水洗いします。

※シルバースティックのお手入れは下記参照。

➡本体への取り付けは、完全に乾いてからにしてください。

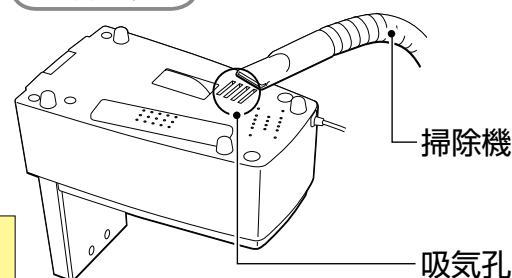
本体の水槽部のお手入れ

●水を浸した柔らかい布で水槽の内側に付着した汚れを拭き取ってください。

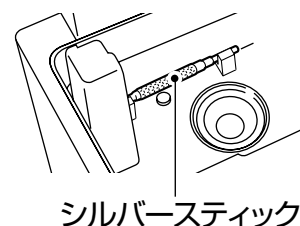
超音波振動プレートの表面に酸化したアルミやカルキ分などの白い粉が付着する場合があります。付属のブラシを軽くあてて落とした後、柔らかい布で拭き取ってください。

本体内部

ブラシ

超音波振動プレート

吸気孔のお手入れ

●本体底面にある吸気孔の周りにゴミなどが入っていないか確認し、ある場合は取り除いてください。

●吸気孔に付いたホコリは、掃除機で吸い取ってください。

⚠**注意** ホコリが付いた状態では湿度設定が正確に働かない恐れがあります。

シルバースティックのお手入れ

●付着しているホコリやゴミを、水道水で洗い流してください。使用していくうちに銀の特性でメッシュ部分が黒ずむ場合がありますが、性能には影響しません（約５～６年使用できます）。

⚠**注意** 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、修理をご依頼ください(裏表紙参照)。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状　態	考えられる原因	処　置
加湿されない	●タンクや水槽内の水がなくなった	⇒ タンクに給水してください。（7ページ参照）
	●カートリッジが汚れている	⇒ 新しいカートリッジに交換してください。（上記参照）
	●振動プレートが消耗した	⇒ 修理を依頼してください。（裏表紙参照）
霧が出すぎる	●強制加湿になっているため、お部屋の湿度状態にかかわらず加湿している	⇒ 湿度設定ノブを適湿範囲内にセットしてください。（8 ページ参照）
水が漏れる	●タンクのふたが締まっていない	⇒ タンクのふたをしっかりと締めてください。
	●本製品を平らな場所に置いていない	⇒ 本製品を平らで安定した場所に置いてください。
水槽に出てきた水が薄茶色になる	●使い始めのカートリッジから極微粒のイオン交換樹脂が出るため（機能･安全上の問題はございません）	⇒ タンク満水の量で数回給水を行う間になくなります。
白い粉が出る	●お使いの水道水の中に含まれるミネラル成分が多すぎるために発生している	⇒ デロンギ・ジャパンサービスセンターにご相談ください。（裏表紙参照）

仕　様

製品名称		ボネコ　ハイブリッド型 加熱超音波式加湿器
型式番号		Mod.2300
定格	電圧	AC100V
	周波数	交流 50/60Hz
	消費電力	40W（ヒーター切）／ 130W（ヒーター入）
適用畳数		木造和室 7 畳／プレハブ洋室 11 畳
加湿能力		最大 395 ／410mL/ 時
タンク・水槽の容量		5L（給水タンク：4.75L、水槽：0.25L）
電源コードの長さ		1.8m
付属品		イオン交換樹脂カートリッジ、シルバースティック、お手入れブラシ
外形寸法／重量		幅 190 ×奥行 340 ×高さ 335mm/ 約 3.65kg
材質		・本体／ ABS　・給水タンク／ SAN、ABS

別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンターにてお求めください。

ボネコ超音波式加湿器 Mod.2300 用イオン交換樹脂カートリッジ

イオン交換樹脂カートリッジの寿命は 1 シーズン（3 ～ 4 ヶ月）です。シーズン初めには、必ず新しいカートリッジをお求めください。

- 型番　Mod.PL-DMC
- 価格（消費税込み）1,575円（本体価格 1,500円、消費税 75円、送料別）

シルバースティック

シルバースティックの寿命は約 5 ～ 6 年です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

- 型番　Mod.PL-SMS
- 価格（消費税込み）3,360円（本体価格3,200円、消費税160円、送料別）

アフターサービスについて

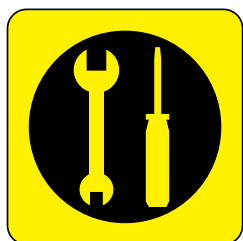
BHI-60620

1)使用中に製品機能上問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。

2)万一、故障/損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に 1. **お求め時期**　2. **製品名称と型式番号**　3. **故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め:長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検のご依頼方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日: 　　年　　月　　日

5)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について: 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について: 製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター ▸(受付時間　土、日、祝日を除く毎日　9:30 ~ 18:00)

● 横浜:〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫(株)内4号ビル
修理のお申し込みは………　Tel. 0120-804-280
お問い合わせ、ご相談は…　Tel. 0120-064-300
／ Fax. 045-450-3291

● 大阪:〒564-0044　大阪府吹田市南金田 2-21-25
修理のお申し込みは………　Tel. 0120-692-885
お問い合わせ、ご相談は…　Tel. 0120-692-880
／ Fax. 06-6368-2881

ホームページでのお問い合わせ(URL)　**http://www.delonghi.co.jp**

DeLonghi **デロンギ・ジャパン株式会社**

本　社:〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-5-6　第3大東ビル　Tel. 03-5256-6321(代)